

3つのことを身に付けた川小の子どもに！

4月7日に1学期始業式。そして、4月8日の入学式において新1年生13名を迎え、全校児童117名で令和7年度の川崎小学校がスタートしました。

「何事も最初が肝心」といいます。しかも、私にとって川崎小学校での初めての始業式です。伝えたいことはたくさんありましたが、あれこれ思案した結果、「3つのことを身に付けた人になろう」という話にたどり着きました。

明るさ・・・明るく元気なあいさつができる人に。

思いやり・・・相手の気持ちをよく考えて行動できる人に。

やる気・・・苦手なこと、面倒くさいことにも挑戦できる人に。



その上で、特に6年生に対しては次のお話をしました。「6年生はチーム川小のリーダーです。児童会長や委員長、クラブの部長になる人だけではなく、6年生のみなさん一人一人がリーダーなのです。今年度の6年生の学年テーマは『川小魂』でいくことを担任の先生から聞いています。皆さんが全校の手本となって活躍してくれることを期待しています。もちろん先生方もがんばります。でも、6年生の協力がなければ絶対にいい学校にはなりません。どうぞよろしく願います。」

6年生だけでなく、2～5年生も真剣な態度で話を聞き、6年生に対しての「頑張ってください」の拍手も大変力強いものがありました。

そして、4月8日の入学式。1年生に具体的に言葉を添えて3つの願いをしました。

◆「おはようございます」、「また明日」。誰にでも元気に明るく挨拶ができる1年生

◆「やったね」、「すごいね」。頑張っている友達を応援してあげられる1年生

◆「負けないぞ」、「もう一回やってみよう」。粘り強く最後まで頑張る1年生

13名一人一人が、私の問いかけに大きな声で「はい」と返事をし、目を輝かせていました。

始業式・入学式を終え、通常の時程になり、本格的な授業開始となりました。

これから職員一同、お子さんの未来のために全力を尽くしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、今後も引き続き本校の教育活動にご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。